

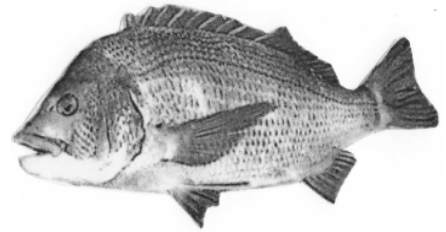
納竿大会

開催日 平成24年12月8日（土曜日）

場 所：三重県鳥羽市浦村町（やま栄渡船）

電 話：0599-32-6009

レポート：田邊文雄



今年最後のイベントであるマンスリー大会が終わった直後、松元班長が12月8日（土曜日）日本海の若狭大島（金丸渡船）に、いかへんかと誘いを受けていました。

ところが、この計画が関西チヌ研の納竿大会と称して標記の大会に変わっていました。

この釣場は11/16日全チヌ連盟の各クラブ（2名）の選抜大会が行われ、当会からは山川、松元氏が代表で参加ダントツで優勝しサンテレビでも放映されました。

この釣場では数釣も楽しめると思って急ぎよ参加することにしました。

大会のルールは小形のチヌが多いことから大きさに制限を設けず、1匹の長寸を競います。1位、2位までとし1位は5000円、2位は3000円としました。

もし、チヌが釣れなかった場合ボラ、フグを除く魚であればOKです。

今日の天気は晴れ時々曇り、西高東低の谷間が近付いているため風が出るとの事でした。参加者7名は抽選の結果、筏2台に4人と3人分かれて釣開始。

私は7人中7番目のくじを引いた為、釣座を選択する権利がありません。

2人並んでいる反対側の左隅に座りました。

ダンゴをつくる前に朝のモーニング狙いです。ボケ餌で落とし込みますがアツツと言う間にエサがありません。チヌではないことは分かりますが正体は何でしょう？

小一時間ほど粘ってみましたが、はりがかりしません。諦めてダンゴ作りです。

2ヶ月程前に紀伊国屋で買ったぬかダンゴ（¥1800-）使わないまま家に持ち帰りそれを持ってきて使います。酸っぱいにおいもせず虫も湧いていません。新鮮です？

オキアミ、ウルトラミックスチヌ、激荒さなぎ等を混ぜこみダンゴを落とします。

シラサで数釣です。2桁は確実です。と思われましたが底撒きでシラサを撒けどもチヌは集まってくれません。向いの筏では山川さんがチヌを釣ったと魚を見せてくれます。

やはりチヌは居るんだと思いながらシラサ、丸貝、オキアミなどを色々試します。

そのうち風も強くなり右前方より吹きつけるようになります。

そのような中で、ボケ餌でガシラ、カレイ、チャリコ等がたまに釣れます。

ダンゴの粘りが強すぎるので調整をしていると置き竿の穂先が大きく海中に突っ込んでいます。合わせると手ごたえはありますが筏から前に右に走ります。ボラかな？と一瞬思いましたが首を振っています。白い魚体が見えます、チヌです。40cm位はあります。

やったと思わず高々と頭の上にかざしてしまいました。その後、風はますます強くなり白波も立ち始め筏の隙間から波を被ります。河野会長も危険を感じ山川副会長と連絡を取り午後1時撤収としました。あとでHPを見ましたが筏で34匹釣った人もいましたね。

7人で2匹とは？？・・・・

参加者：河野会長、山川副会長、松元班長、山本氏、藤坂氏、西山氏、田邊 以上7名

釣 果：1位・・・田邊41.5cm 2位・・・山川氏40.5cm